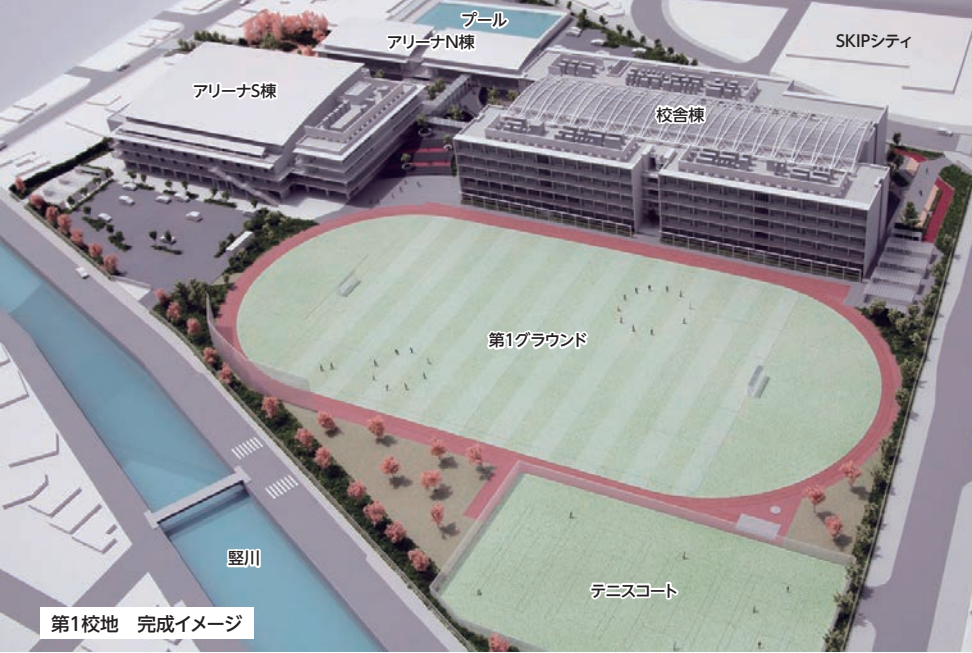


新市立高等学校の施設計画

現在の市立高等学校3校(川口総合、川口、県陽)は、平成30年4月に新しいひとつの市立高等学校に生まれ変わります。
 新市立高等学校の施設計画は、市立3校の歴史と伝統を踏まえつつ、これからの時代に対応しながら本市の教育のリーディング校として、近隣のSKIPシティなどとも連携し、立地特性を生かした施設となることをコンセプトにしています。



第1校地 完成イメージ

施設概要

- 第1校地** 計画場所: 上青木3-1-40 (現 川口総合高等学校など)
 建築面積: 13,562㎡ 延床面積: 31,632㎡ 階数: 地下1階、地上5階
 整備施設: 校舎棟、アリーナ棟、第1グラウンドなど
- 第2校地** 計画場所: 朝日5-9-18 (現 市立川口高等学校)
 整備施設: 第2グラウンドなど

校舎棟 (平成29年12月竣工予定・平成30年4月から供用開始予定)

校舎棟は、2階から最上階までを吹き抜け空間とし、その上部に設置した膜屋根^{まくやね}によって、明るく開放的なスペースが創り出されます。また、雨水、井水、地中熱を活用するなど、生徒が自然のエネルギーの力や環境の大切さを感じることでできる身近な教材となります。



校舎棟内部 (ラーニングストリート)



化学実験室



大ホール



普通教室

アリーナ棟 (平成32年12月竣工予定)



大アリーナ

南北に2棟建設されるアリーナ棟には、大中小の3つのアリーナ(体育館)のほか、柔道場、剣道場、合宿所などを整備します。大アリーナは、バスケットコート3面分の広さで、480席の観客席を備えます。

グラウンド (平成33年8月竣工予定)



第1グラウンド

第1グラウンドには、部活動の活性化と近隣への砂埃対策として、人工芝を導入します。第2グラウンドには、部活動用のグラウンド整備を予定しています。

地域の避難施設として

災害時における避難施設としての機能を備えるため、防災備蓄倉庫、マンホールトイレなどを整備します。

今後のスケジュール

- 平成27年度 校舎棟工事着工(平成29年12月竣工)
- 平成30年度 新市立高等学校開校
- 平成32年度 アリーナ棟等工事着工(平成32年12月竣工)
- 平成32年度 グラウンド等工事着工(平成33年8月竣工)
- 平成33年度 工事完成



校舎棟外観

新市立高等学校 校名募集中

9月11日(金)まで
 詳細は案内チラシまたは市ホームページで。

